



編集発行

公益社団法人

四街道市シルバー人材センター

普及啓発委員会 広報編集グループ

四街道市和良比181-37

電話 043-497-5080

<http://www.sjc.ne.jp/yotsukaidou/>

自主・自立・共働・共助の理念と安全就業

謹賀新年



ベニマシコ（八千代市にて）／撮影 田原 巖 会員

3密に注意しよう

あけまして
おめでとう
ございます。

さらには、お客様とのコミュニケーション、
接遇対応が最も大事になります。

今年は、新内閣の提唱によりデジタル化が急務とされており、これからは、ペーパー時代では無いという意味です。何事も簡素化を推し進めて行こうとの事です。しかし、時代の流れに追従するには、シルバー人材センターとしては課題が多くあります。何年か前にデジタル化を考えアンケート調査を実施しましたが、とても移行できるような結果ではありませんでした。今回もアンケート調査を行い、その結果を見守ります。このような課題を達成するには、何よりも会員の皆様のご理解とご協力、前向きな姿勢が大事です。

最後になりますが、くれぐれも「3密」を避け、他人にはうつさない、自分も感染しないを生活の基本とし、不自由を感じながらも、より良い一年になることを願い、新年のご挨拶といたします。



新型コロナウイルス感染症が収束することなく、新年を迎えました。

誰かのお役に立ちたい、誰かの為になりたい、という会員の皆様にはどの様な新年を迎えられたでしょうか。大過なく一年を過ごされた皆さんですから、今年もコロナウイルスになんかに負けない、強靱な体と精神力で前に突き進んでくれることでしょう。このような、コロナ禍の状態であっても常に、明るく楽しく仲間と逢い、充実した日々を過ごす事を、期待してやみません。

さて、昨年来の課題でもありました「ノークレーム」、「見える安全対策による無事故」で、市民からの信頼を得ること。それには、各職群班作業標準、安全基準の見直し、単価の見直し等々が大事ではないでしょうか。

公益社団法人四街道市シルバー人材センター
会長 三浦 誠



新年のご挨拶

四街道市長 佐渡 斉

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃から市政への多大なるご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスによって、私たちの生活様式は一変してしまいました。そのような中でも、健康で生きがいのある生活の実現や地域社会の活性化に大きく貢献されているシルバー人材センターの果たす役割は揺らぐものではなく、今後ますます重要になるものと思っております。

これからも、シルバー世代の皆さんが元気に働くことができる、住みやすく、魅力あるまちづくりを目指してまいります。会員の皆様におかれましては、引き続き、積極的な社会参加を通して、本市における地域社会の発展にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

本年もご自身の健康や作業の安全に留意し、ご活躍されますことを期待するとともに、公益社団法人四街道市シルバー人材センターのますますのご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



植木班

檜垣 喜久江 会員

みそら（旭地区3班）

創立以来、二人目の女性植木職。女性の植木職は、現在のところ希少、活躍が期待される。所用で事務局を訪れたところをつかまえ、緊急インタビューを敢行したのだが、快く引き受けてくれた。…ただし、顔出しはNGとのこと、残念。

檜垣会員は、令和2年2月に入会。植木の手入れ講習会を受講後、4月頃から就業を開始。育成期間を経て、11月から“独り立ち”している。

「引っ越しが多くて、でも、植物が好きで、いつもその仕事をおいかけていました。」

関西に居た頃は、ホームセンターや園芸店で植物を担当、関東に来てからはホームセンターのほか、町田市で公園緑地管理に従事した。

「園芸店にいた頃は、造園ばかりでなかなか剪定をさせてもらえませんでした。ふるいがけだけで丸2日間とか、コンクリートを練るだけとか。でも、この世界（仕事）に入れたことが、うれしかった。シルバー人材センターでは、いきなり剪定でしょう。うれしくて、仕方がないんです。」

と、笑顔でさわやかに話してくれた。植物や農作業、特に剪定作業が好きと言う。

「4月頃から畑を始めています。やがては果樹園をはじめようと準備中なんです。」

他にも「森林ボランティア 四街道フォレスト」に参加、植物や自然に接する機会を探求している。

「女性のお客様から、以前は私がやっていたのよと聞くと、仲間がいた！ってうれしくなっちゃいます。」

どういう植木屋さんを目指しますかと聞いてみた。

「人も木も喜べる剪定をしたい。」

木としっかり向き合い、丁寧に仕上げる仕事をしたいという。仲間も良くしてくれ、すごくうまくいっていると笑顔で話す。

「楽しめるうちに、楽しんでいるんです。」

シルバー人材センター事業をうまく利用している様子がうかがえる。「うれしい」、「楽しい」が絶えることのないインタビューとなった。

コロナ・アラカルト

コロナ禍で、何かと我慢が続き、悪いことばかりな気になりがちです。でも、物事は見かた次第。もしかすると、「イイこと」がいくつもあったかもしれません……。そこで、意外なことに初の試みとなります、広報編集委員全員で寄稿してみました。お楽しみいただければ幸いです。

ゴルフのスコアUP

ステイホームで時間はたっぷり。室内で楽しむ趣味を持たない私が、暇つぶしに時間を割いたのがゴルフの練習と家庭菜園。おかげで？地域のゴルフコンペで2回も優勝し、ハンディが下がりました。次はブービーにならないように、練習は継続かな？野菜作りも基本に忠実に行ったせいか、なかなか好調。手間暇をかけただけ見返りもあると認識を新たにしました。それと、散歩の回数も増えました。事務局便りで「フレイル」予防を喚起する記事に誘発されたものです。こんな状況下、「事務局便り」のタイムリーな記事に関心。次回もよろしく。

平林編集長

田原編集委員

今年は、「四街道写真倶楽部」を立ち上げて10年目の節目の年、四街道市民ギャラリーで「第10回野鳥写真展」を盛大に開催する予定であった。ところが、コロナ対策で開催自粛要請があり、延期せざるを得ない状況となった。今のところいつ開催できるか全く不明な状況である。いつもなら、倶楽部員同士で野鳥を求めて遠くまで遠征するのだが、そのような行動も慎んでいる。そのかわりに、個人旅行に家内と出かけるようになり、寧ろ夫婦の絆が深められたという結果になった。旅行中、家内もポチポチと野鳥を撮影することもあり、少しは趣味が共有できたかなあと感じられた。野鳥撮影なので、撮影地は人出まばらで、緑にあふれ空気は美味しい、言うことなしの環境である。最近では、倶楽部員もコロナ禍での行動にも慣れ、感染対策を守りつつ、ポチポチ活動をはじめている様子。これから倶楽部のテンションを徐々に上げながら、2021年の夏頃には節目の写真展を開催したいと思っております。

夫婦の絆、深まる

両親の墓参りに行くと、子猫の鳴き声が…。産まれてひと月ほどだろう、酷く痩せている。今夜から台風が来るとの予報。カラスも近くで泣いている。放っておけば間違いなく死んでしまうだろう。ウチには、保護犬と保護猫がすでに各1匹。猫1匹くらいは何とかなりそうだが、問題は飼養。食事を1日数回に分けて与えなければ、必要量に満たず、結局助からないことだろう。子猫の世話は意外と手がかかる。夫婦共働き、日中は面倒を見ることできない。ふと横を見ると娘が…。娘は現在コロナ対策で在宅勤務がほとんど。…なんだ、大丈夫ではないか。今のところ、元気にすくすくと育っています。コロナのお陰で命が救え、家族が増えました。

事務局担当 阿部

子猫助かる

孫との新たなふれあい

コロナが発生する前と後の自分達の生活様式と比較してみると、大きく変化していると感じます。今までは軽く考えていた手洗いと消毒、うがいの励行、マスクの着用、3密を避ける、このことが毎日の生活様式となっています。感染しないよう心がけておりますが、明日は我が身とばかり、不安を感じながら生活しているところです。足利に居る小学4年生と中学1年生の孫娘2人とは、今年の正月に会ったとき、顔を見られないさみしさがありました。この10月にスマホに変えたことで、動画をLINEで送ってくれるようになり、それを見ることによって家の中が明るくなったようです。「わからない時は、教えてあげるから連絡してね。」と、うれしいコメントを送ってくれます。元気な孫達の顔を見て楽しんでおります。

鈴木編集委員

瀬藤編集委員

新たな技術取得

コロナの拡大で、市販のマスクが品薄になり、マスク作りをはじめました。一緒に仕事をしている襖班の仲間や家族に、手縫いの布マスクを配ったところ、好評だったことがきっかけとなって、次々とお願いされるようになりました。その後もマスク作りに没頭。プリーツ、立体、西村大臣型と種類も増え、少しずつアレンジや改良を加え、今では格段の進化を遂げることができました。コロナのお陰で新たな技術を取得できました。

60歳以上の方へ 地域の繋がりで
登録無料! 生きがいの充実!
 はじめました
 公益社団法人四街道市シルバー人材センター

ネクストメンバー制度

好調なスタート



令和2年10月1日から実施した、ネクストメンバー制度。11月末の時点で、登録された方が21名。内、6名の方がすでに正規会員に登録されております。この制度は、いわば仮会員登録の制度で、入会にあと一歩が踏み出せないでいる方に、シルバー人材センターとの繋がりを保持していただき、入会を支援するものです。そのため、登録は無料となりますが、シルバー人材センターから提供させるサービ

スに大きな差があります。例えば、定期便による情報提供はありません。会員の皆様は特に意識する必要はありませんが、ひとつだけ注意しなければならない事があります。令和2年10月1日以降に退会された場合、その理由によってはネクストメンバー制度への登録をすることが出来なくなる可能性があります。ネクストメンバー制度は、会員の確保・増強を目的としており、いわば会員の候補者を確保する制度です。そのため、会員からネクストメンバーへの移行を制限する必要があるからです。ただし、「働けなくなったけど、シルバー人材センターとの繋がりをなくしたくない。」という会員の方のための制度という側面もありますので、退会を検討される際には、この制度も選択肢のひとつとお考え下さい。

ネクストメンバー制度の詳しい内容に関しては、Web サイトを参照いただくか、事務局にお問い合わせ下さい。

事務局新体制

第68号が臨時休刊となったため、報告が遅れましたが、事務局体制がかわりましたのでお知らせします。よろしくお願いいたします。



谷本 公彦 主事
 令和2年1月1日就任

三浦 裕美 主事
 令和2年4月1日就任



事務局長 阿部 知和

主な業務の担当

鈴木主任 総務・経理関係 財団※以外の公共管理系業務	小井主任 財団※関係 生活サポート関係 総合事業関係 派遣事業 街路樹帯等除草作業
谷本主事 全戸配布業務 グリーンリサイクル事業 入会関係業務 広報関係業務	三浦主事 公共除草等業務 単発受注関係 地域班・職群班関係 定期便業務
悴田局員 個人・企業等請求事務	

連携を図り、事務局の誰もが担当に関わらず、基本的な対応ができるよう努めております。担当外でも、気軽にお声をかけて下さい。

※ 公益社団法人四街道市地域振興財団

編集後記

例年、初詣に参詣している神社仏閣から「お礼」の郵送、Web 申込の案内が届きました。ご利益の程はどうか？と思い、見送りました。新年は、ステイホームです。皆様のお正月は如何でしょうか？これから寒さも厳しくなります。発熱すると、普通の風邪、インフルエンザ、新型コロナの区別が困難なようです。無理を避け、適度な運動と食事で、体力維持に努めましょう。いい一年でありますように。

広げよう！ 「働く喜びと社会参加」

会員数

男性 437名
 女性 156名

 合計 593名



令和2年11月末日現在

最高登録会員数 平成24年1月末 672名